

## 議案等の議決結果

項目	件数	件名	結果
予算案件(知事提出)	33件	平成23年度和歌山県一般会計予算等	可決
条例案件(議員提出)	1件	議会の議員の議員報酬の特例に関する条例の一部を改正する条例	//
条例案件(知事提出)	24件	和歌山県職員定数条例の一部を改正する条例等	//
その他案件( // )	13件	紀の川流域下水道の指定管理者の指定について等	//
人事案件( // )	1件	和歌山県教育委員会の委員の任命につき同意を求めるについて	同意
請願	3件	教育改革についての請願	継続審査
		高齢者の生活実態に見合う年金引き上げと「生活支援金」の支給を求める意見書の提出を求める請願	不採択
		消費税によらない最低保障年金制度の制定を求める意見書の提出を求める請願	//
意見書	8件	北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書	可決
		北方領土問題の早期解決を求める意見書	//
		鉄道駅におけるホームドア整備の推進に関する意見書	//
		関西国際空港の再生及び強化に関する意見書	//
		高速道路ネットワークの早期実現に向けた予算確保を求める意見書	//
		高速道路の新たな料金割引に関する意見書	//
		地球温暖化対策税(環境税)導入について慎重な対応を求める意見書	//
		南極海における鯨類捕獲調査事業の継続等を求める意見書	//

## 会期中の主な動き

### ■特別委員会の開催

- 防災・環境問題等対策特別委員会 (2/24)
- 行政改革・基本計画等に関する特別委員会 (2/25)
- 予算特別委員会 (3/2、3、8)

### ■条例案検討会の開催

- 歯科保健推進に係る条例案検討会(第2回) (3/1)

## 会期日程(24日間)

月	日	内容
2月	14日(月)	本会議
	15日(火)	議案調査
	16日(水)	本会議・常任委員会
	17日(木)	議案調査
	18日(金)	
	21日(月)	
	22日(火)	
	23日(水)	本会議(一般質問)
24日(木)	本会議(一般質問)	
3月	25日(金)	本会議(一般質問)
	28日(月)	
	1日(火)	予算特別委員会
	2日(水)	
	3日(木)	常任委員会
4日(金)		
8日(火)	本会議・予算特別委員会	
9日(水)	本会議	

**問** 和歌山市内の救命率向上のため、早期にドクターカーを導入する必要があるが、その現状と今後の対応は。

**答** ドクターカーは重篤傷病者等の救命率向上につながり、現在、日赤和歌山医療センター、県立医科大学附属病院、和歌山市消防局と検討を行っている。今後、引き続き関係機関と協議し、医師不足の中、病院の救急部門への影響等も考慮しながら取り組む。



## 知的障害児通園施設増設

**問** 現在、知的障害児通園施設は県内に3カ所あるが、いずれも満杯の状況である。入園できない子供にどう対応しているか。

**答** 児童デイサービス事業で障害児の個別・集団療育を実施しており、月平均約1000名が利用している。障害児(者)地域療育等支援事業では、医師や理学療法士等の専門家が定期的に家庭や地域の集会所を巡回し、療育支援の充実を図っている。今後も市町村と協議の上、社会福祉法人による施設設置を働きかける。

## ドクターカーの導入

**問** 和歌山市内の救命率向上のため、早期にドクターカーを導入する必要があるが、その現状と今後の対応は。

**答** ドクターカーは重篤傷病者等の救命率向上につながり、現在、日赤和歌山医療センター、県立医科大学附属病院、和歌山市消防局と検討を行っている。今後、引き続き関係機関と協議し、医師不足の中、病院の救急部門への影響等も考慮しながら取り組む。

## 医大不適正支出金の返還

**問** 県立医科大学の不適正経理問題について、不適正支出をした研究者の処分のみならず、そのお金を返還させるべきではないか。

**答** 昨年末、国との協議が完了した。不適正支出額は約1億3000万円、加算金を含めると最終返還額は約1億7000万円となる見込みである。国等へは大学が立てかえて返還しているが、今後、研究者から大学への返済について、支払い方法等の貸付契約を交わすことにしている。

## 紀南への回復期リハビリテーションセンター設置

**問** 現在、田辺地域では回復期リハビリテーションセンターは手一杯と聞く。センターを設置すれば、患者を寝たきりにすることもなく、医療費削減の効果もあるのではないか。

**答** 新たなリハビリテーションセンターの設置、既設の医療機関の強化や連携など、地域にとつてより適切な医療体制のあり方について、地域の意見も十分聞き、保健所単位で設置する医療対策協議会で検討している。



## 携帯電話の有害サイト対策

**問** 携帯電話サイトを通じて性犯罪被害等が増加している中、有害サイトとの接点を断ち切るため、効果的な対策を考えなければならぬと思うが。

**答** 各携帯電話事業者とフィルタリング促進のための検討等を行っているが、フィルタリング解除には保護者に理由書の提出を求めるという事業者の自主的な動きも広まっている。今後も事業者とフィルタリング促進を働きかけるとともに、安易な解除に歯止めをかけ、有害サイトから青少年を守る有効な対策に取り組む。



**フィルタリング**  
インターネット上の青少年にとって望ましくない有害情報サイトへのアクセスを制限する機能。

## 市町村合併に対する所見

**問** 「平成の合併」で30市町村となったが、合併のデメリットもあらわれてきている。知事の所見は。

**答** 専門部署の新設等による行援を活用した公共施設の耐震化の推進などの効果もあらわれている反面、旧庁舎周辺のにぎわい低下、水道料金等の住民負担の調整などの課題もある。県としても、そういった問題意識を持ち、課題解消に努めるべく、市町村の方々と議論しながら様々な施策を通じて支援していく。

## 高校の入学定員増

**問** 定員増は予算がなく難しいと思うが、1クラス分の経費は約1600万円と聞いた。それで数十人の子供たちの未来が保証されるのなら高くはないのでは。

**答** 県立高校の募集定員は、教育委員会が生徒数の推移や地域の実態等を総合的に検討して決定しているが、「和歌山の子供は和歌山で育てる」ことを基本に置くよう求めている。予算を理由に子供の未来を狭めることは考えておらず、今後も本県教育の充実に取り組む。

## 生徒指導のあり方

**問** 中学校でのいじめで、担任が見て見ぬふりをしていることもあると聞いた。聖職者である教師は毅然とした態度で指導してもらいたい。

**答** 日ごろから児童生徒のことを一番に考え、実態把握に努めながら熱意を持って対応するとともに、いじめや暴力には毅然とした態度で臨み、規範意識をはじめ豊かな社会性を育てるよう引き続き指導していく。

